

キラリ

熱中時間

産学官の連携で自動運転技術を研究・開発

深谷市にゆかりがあり、
市内外で活躍する個人
や団体を紹介します。

「自動運転が深谷を代表するブランドの1つになれば大変うれしく思います。」と語るのは、埼玉工業大学教授の渡部大志さんです。

深谷市も参画する『深谷自動運転実装コンソーシアム（共同体）』の中心メンバーとなっている渡部さんは、『バスの運転手不足を解決し、一人でも多くの人が便利に暮らせるまちづくりに協力したい』という思いから、自動運転バスの研究を始めました。

「交通事故の多くは、一時不停止のような、基本的な運転者的人為的ミスによって起こります。その点、自動運転は交通ルール通りに動くため、事故を防ぐことができます。」と自動運転の可能性を語ります。また、「この研究は、さまざまな企業と取り組んでいるので、



▲豊里中学校で自動運転についての特別授業を行なう渡部さん

埼玉工業大学教授
自動運転技術開発センター
センター長
渡部大志さん

先端技術で交通環境 の改善を目指す

学生にとっても良い経験になります。成長産業のど真ん中の分野で多くの経験を積み、卒業後もぜひ、豊かな交通環境づくりに関わってほしいと思います。」と、研究室の学生への活躍にも期待を寄せます。

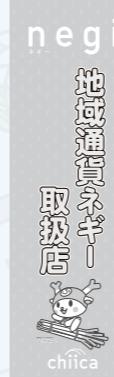
今後の研究活動について、「自動運転バスを普及させるためには、バス停に路上駐車をしないなどの交通ルールを、地域の皆さんがどれだけ守ってくれるかにかかっています。そのため、地域の皆さんとコンソーシアムや行政が協力して、『一緒に良い交通環境を作っていく！』という雰囲気にしていきたいですね。」と話してくれました。

私たちの日常生活は、次世代の技術研究や人材育成に取り組む渡部さんの活動と、ますます強く結び付いていきそうです。

『農業』で

深谷を元気に！

目指せ1000店舗！ 地域通貨ネギーの取扱店を募集しています



▲取扱店のぼり旗

地域通貨ネギー（以下、ネギー）は、飲食業や小売業、建築業など、幅広い業種が対象で、ガソリンスタンドや医療機関（保険適用対象外のサービスに限る）でも取り扱いできます（3月21日現在932店舗）。

市内事業者の皆さん、ぜひ、ネギーの取扱店になりませんか。
※一部取り扱いできない商品もあります。

■取扱店のメリット

- 手軽にキャッシュレス決済を導入できる！
- 取扱店の決済手数料が無料！
※他のキャッシュレス決済の多くは、1~3%程度の決済手数料が発生しますが、ネギーは無料です。
- 売上額の精算・振り込みを月3回実施！
- ネギーで給付する子育て支援や補助金などの利用店舗として、来店・利用機会が増加！
- 常に決済額の1%を還元でお客様にもお得！

■ネギーの決済方法

- ①店舗専用アプリ ②QR台紙設置の2種類です。
※取扱店のタブレット端末（スマートフォン可）
に、専用アプリを入れることでカードタイプのネギーの決済が可能となります。

■取扱店が用意するもの

- 通信機能・カメラ機能のあるタブレット端末（専用アプリで決済を行う場合）
- 売上金額の振込口座
- のぼり旗掲示用の土台・ポール

■取扱店申し込み方法

市ホームページから電子申請、またはファックスで申し込み

■取扱店へのお願い

利用者にネギーで決済できる店舗であることが分かるよう、『取扱店ステッカー』、『決済用QR台紙のレジ付近への提示』、『のぼり旗の掲示』をお願いします。



▲詳しくは市ホームページを確認してください

ふつかちゃんの日常から 深谷が見えてくる ふつか歩 #プロッコリーフェア in 道の駅おかべ

今回は、道の駅おかべで5月12日(日)まで開催中の『深谷のめぐみ プロッコリーフェア2024』に来たよ。

深谷市は『プロッコリー』の収穫量が全国トップクラス。

そんなプロッコリーの楽しみ方を探しにいってみよー！



▶深谷のプロッコリーを紹介するポスターを見たところ、みんなは『指定野菜』って知ってる？国が、『消費量が多く国民にとって重要な野菜として位置付けている野菜』なんだって。

その指定野菜に、プロッコリーが2026年から仲間入りすることになったよー。この機会に、深谷のプロッコリーのいいところを、みんなにいっぱい知ってほしいねえ。



▲道の駅の中のお店では、プロッコリーを使ったオリジナルメニューを食べられるよ。期間中に何度も楽しめそうだねえ♪

ふつかちゃんの
つ・ぶ・や・き
4月ってワクワクした気持ちになるよねえ～♪
みんなが最高のスタートを切れるように応援しているよおY(o≧ω≦o)Y

あるある
ふかやに
深谷市

男女共同参画 情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや
閣人権政策課 (574-6643)

『誰かのこと じゃない。~性の多様性への理解を深めよう~PART VI

性的少数者（LGBTQなど）は こんなことに困っています・・・

- 住居探しや病院での対応が不十分
- 男女別となる制服やトイレ、授業などに抵抗を感じる
- 同性パートナーの法的保障がない
- 自分の悩みを家族や友人に相談できない
カミングアウト（性的少数者であることを周囲に伝えること）をしていない人もたくさんいます。
- 気づかなくても、周りに性的少数者のかたがいるということを忘れないでください。

多様性を認め合う職場を目指して ～LGBTQへの配慮～研修会

2月14日に、事業所および市民を対象に研修会を実施しました。

参加者のアンケートでは、『知識が整理され、理解が深まった』、『職場での対応について勉強する良い機会となった』などの感想が寄せられました。



参加事業所 (医好文会、パークアーサヒ(株)、深谷郵便局、マルコーフーズ(株))